

第3回職域におけるがん検診に関するワーキンググループ

職域におけるがん検診の実態把握のための 健診標準フォーマットの運用について

平成29年9月7日

日本医師会
常任理事 羽鳥 裕

健診標準フォーマットについて

健診標準フォーマットの策定と運用の必要性

現在、医療等分野のデータの照会・連結に用いる識別子としての医療等 I D の議論が進む中、健診や人間ドックの結果データに関しては健診機関ごとに健診データの仕様等が異なることから、管理者が大規模集積を行うことは困難。



日本医師会は、「健診標準フォーマット」の運用により、医療機関、健診機関、健診関係団体等による、組織横断型の健診データ標準仕様を策定し、組織・団体間の連携が可能なデータ構築を目指している。

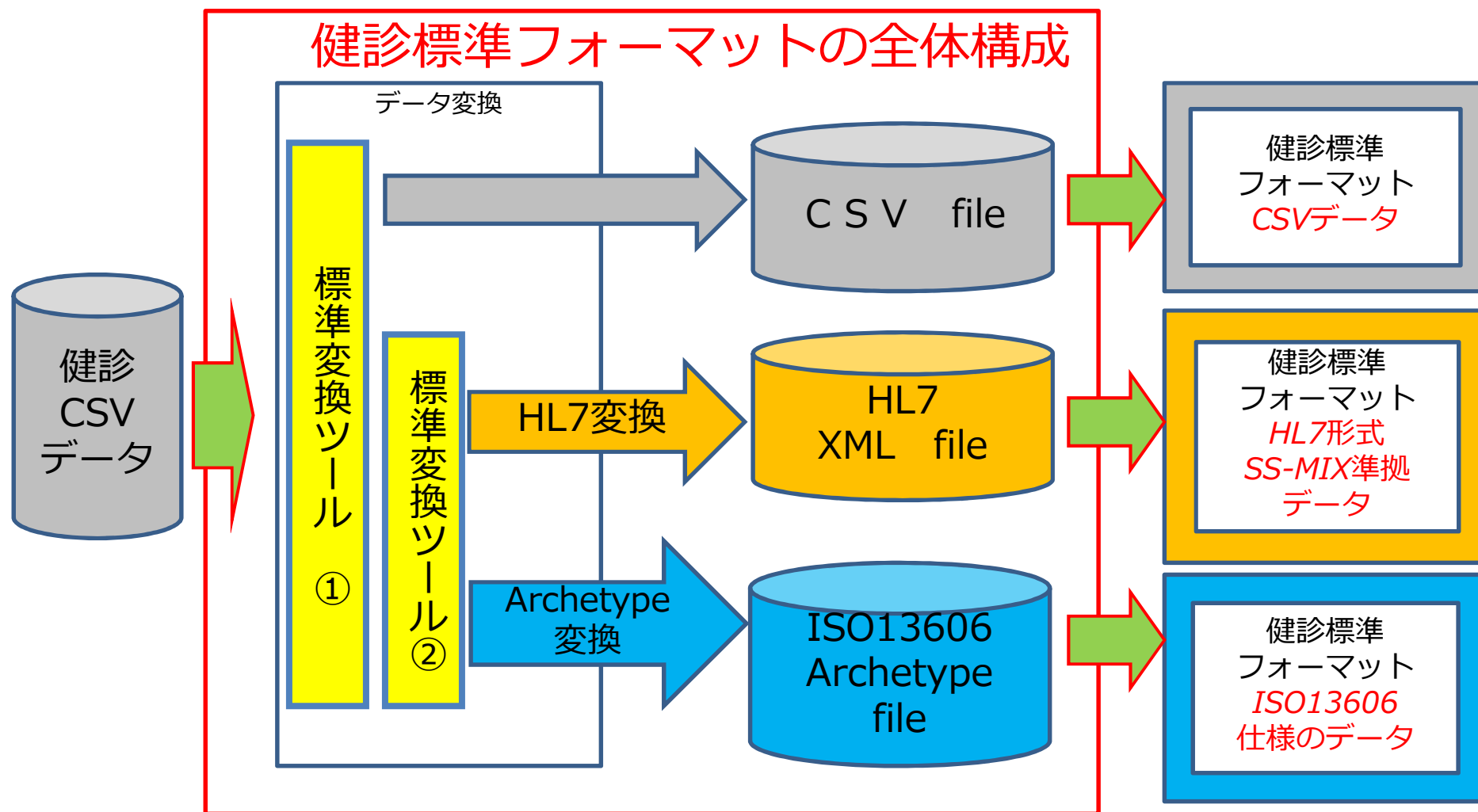
健診標準フォーマットにより一元管理できる健診

健診等名称	健診の実施主体	対象者
特定健康診査	医療保険者	40歳以上の被保険者等
一般定期健康診断	事業者	従業員
特殊健康診断	事業者	従業員
対策型がん検診	市町村自治体	一定の年齢の住民
任意型がん検診	医療保険者、事業者	任意
人間ドック	医療保険者、事業者	任意
乳・幼児健診	市町村自治体	6歳以下の子供
児童生徒健診	市町村自治体	小学生・中学生

注) 乳幼児健診及び児童生徒健診は平成28年度中に変換ツールを策定。

健診標準フォーマットは、乳幼児期から高齢期に至るまでの各種健診の健診項目をひとつのデータベースで管理できる。

健診標準フォーマットで一元管理するための変換ツールの提供



健診機関で抽出される健診結果のCSVデータは、2つの標準変換ツールを用いることで様々なファイル形式に対応することができる。

「健診標準フォーマット」を紹介した国等の主な会議

会議等の所管	会議等の名称	日医参画役員
内閣官房	次世代医療ICT基盤協議会	横倉会長
	未来投資・構造改革徹底推進会合(医療・介護)	今村副会長
内閣府	規制改革会議「健康・医療ワーキンググループ」	今村副会長
	総合科学技術・イノベーション会議重要課題専門調査会 「地域における人とくらしのワーキンググループ」	今村副会長
経済産業省	次世代ヘルスケア産業協議会 「健康投資ワーキンググループ」	今村副会長
	健康経営銘柄発表会	今村副会長
	企業・保険者等が有する個人の健康・医療情報を活用した 行動変容に向けた検討会	石川常任理事
厚生労働省	保険者による健診保健指導に関する検討会	今村副会長
	厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部会	道永常任理事
	生活保護受給者の健康管理支援等に関する検討会	松本常任理事
	実務担当者による特定健診・特定保健指導に関する ワーキンググループ	羽鳥常任理事
日本健康会議	重症化予防ワーキンググループ	今村副会長
MEJ	渡航受診者受入れ医療機関のリスト化に向けた調査委員会	今村副会長

日本医学健康管理評価協議会の構成団体

公益社団法人	日本医師会
公益社団法人	全国労働衛生団体連合会
公益社団法人	全日本病院協会
公益社団法人	日本人間ドック学会
公益財団法人	予防医学事業中央会
公益財団法人	結核予防会
公益財団法人	日本対がん協会
一般社団法人	日本病院会
一般社団法人	日本総合健診医学会
一般社団法人	健康評価施設査定機構

以上10団体

国民の生涯にわたる健康維持や生活習慣病予防に必要な質の高い保健事業の継続的な提供のため、健（検）診事業における質の評価と向上を図るための対策を推進することを目的として、健診関連10団体により、平成22年に設立された。

日本医学健康管理評価協議会構成団体 【共同宣言】

-平成28年10月12日-

わが国においては、乳幼児から老年期に至るまで諸種の健診※を中心とした保健事業が展開されているが、それぞれ実施主体や所管官庁・部局等が異なるために、そのデータが一元的に管理されていない。このため、国民自身の乳幼児期から、学童期、成年期、壮年期、老年期に至る健康情報が経年的、且つ、十分に活用できていない。

今後、個人情報の厳格な管理を前提として、国民の生涯を通じた健康情報が一元管理され、一次予防から三次予防までの保健事業が国民のライフサイクルに応じた「生涯保健事業」として的確に実施されなければならない。

そこで、国民に対して質の高い保健事業を継続的に提供するため、健診に関わる様々な課題の解決を図る目的で健診関係団体により設立された日本医学健康管理評価協議会は、「生涯保健事業」の体系化に向けて、次のことを宣言する。

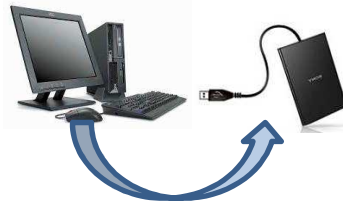
1. 国民の生涯を通じた健康情報の一元管理を目指して、健診実施機関等が有する健診データ仕様の標準化を図ること。
2. 医療機関、健診実施機関、健診関係団体等が取り組む国民の生涯を通じた健康増進や健康管理に関わる事業活動に資する、健診のデータベース構築に協力して取り組むこと。
3. 健診データにおける仕様の標準化のために策定された「健診標準フォーマット」の普及を目的とした、仕様の更新や改善の検討について協力して取り組むこと。

※「健診」には健康診査や健康診断と共に検査診断も含んでいる。協議会においては妊婦健診、乳幼児健診、学校児童生徒健診、労働安全衛生法に基づく定期健診等、特定健診、後期高齢者健診、がん検診、人間ドック健診等を検討の対象としている。

健診標準フォーマットの実証運用に係る 収集データの分析

平成27年度健診標準フォーマットによるデータ収集

①施設内の健診システムでCSVファイルを作成

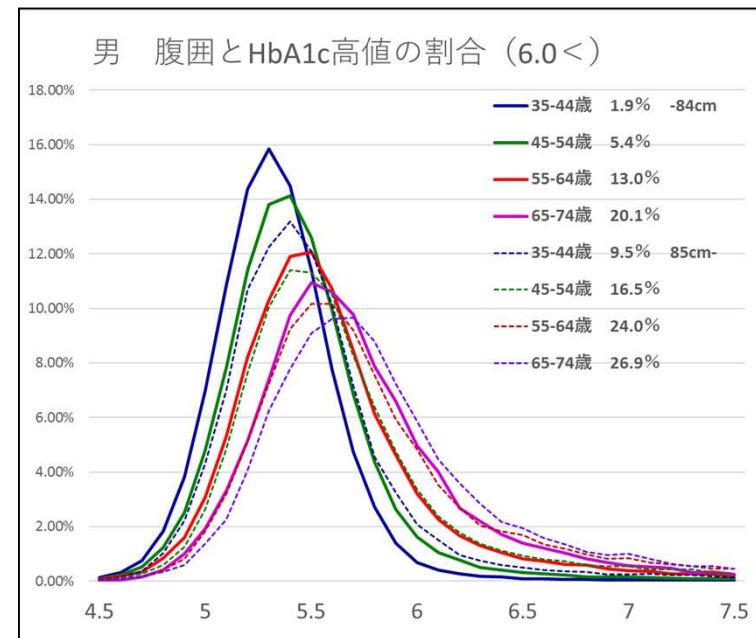


②「変換ツール」でCSVファイルを健診標準フォーマットに変換。変換後のデータファイルは外付H Dに蓄積。

2016/5/1現在

健診データ変換件数（H25年度1年分を抽出）

データ提供協力施設		データ件数
医師会立	西宮市医師会	11,000
	品川区医師会	1,044
	半田市医師会健康管理センター	40,895
	焼津市医師会臨床検査センター	20,212
	石川県医師会臨床検査センター	7,183
	臼杵市医師会情報管理センター	18,554
	佐賀県医師会成人病予防センター	81,626
	福岡市医師会成人病センター	4,962
	宗像医師会病院	13,197
医師会立以外	霞が関ビル診療所	761
	東都クリニック	966
	同友会 春日クリニック	104,718
	生光会 健康管理センター	3,055
	日本健康倶楽部（15支部）	711,579
	相澤病院健康センター	27,784
	神奈川県予防医学協会	392,612
参考データ	東京都情報サービス産業健保	43,049
合計件数		1,483,197



※抽出されたデータ分析により、各年代によるHbA1c検査の分布の違いが、より明確に把握される。

◆健診標準フォーマットは、特定健診、一般定期健診、人間ドック、がん検診、及び一部の特殊健診をカバーしているため、幅広い年代の健診状況の把握が可能となる。

がん検診に関連した検査の実施状況（抽出データより）

分類	施設名	施設24	施設30	施設44	施設54	施設55	施設67	施設80	施設K	施設A	計
受診者数	合計	9,479	64,405	104,718	15,008	3,055	13,197	40,892	324,074	27,784	602,612
	男	4,993	26,622	58,555	6,409	1,463	5,220	4,894	213,915	14,783	336,854
	女	4,486	37,783	46,163	8,599	1,592	7,977	35,998	110,159	13,001	265,758
便	件数	6,563	12,085	25,340	5,335	1,278	6,699	32,830	71,980	18,837	180,947
	便潜血(2回とも-)	6,127	11,115	23,770	4,998	1,238	6,194	31,085	67,995	17,537	170,059
	便潜血(+)	436	970	1,570	337	40	505	1,745	3,985	1,300	10,888
喀痰	細胞診 CLASS1	8	257	345		3	2			136	751
	CLASS2	103	75	177		0	3			103	461
	CLASS 2b,3,3a	0	0	5		0	0			0	5
胸部検査 X線、CT等	件数	8,075	13,513	78,459	8,922	2,918	4,294	9,794	235,910	24,209	386,094
	A(異常なし)	5,766	11,933	69,059	3,903	2,593	4,148	8,939	207,437	19,983	333,761
	B(ほぼ正常)	1,943	732	8,460	357	175	50	0	773	2,641	15,131
	C(経過観察)	234	627	84	2,125	133	28	621	25,714	1,249	30,815
	D(治療中、要治療)	0	37	22	52	13	12	70	521	276	1,003
	E(精検、再検)	132	183	834	129	4	54	164	1,465	60	3,025
上部消化管 X線、内視鏡等	件数	6,148	4,066	48,532	3,195	1,340	2,248	22,599	63,402	3,048	88,128
	A(異常なし)	3,267	1,811	27,281	2,807	838	1,584	16,992	49,445	1,689	54,580
	B(ほぼ正常)	1,648	1,842	17,819	64	81	6	0	斜線対象外	102	21,562
	C(経過観察)	1,024	236	242	184	403	479	4,727		974	8,269
	D(治療中、要治療)	3	80	9	11	1	29	0		282	415
	E(精検、再検)	206	95	3,180	129	17	150	880		1	4,658
腹部 (超音波)	件数	2,354	3,980	21,836	1,432	318	806	24,976	15,066	18,607	67,539
	A(異常なし)	549	402	10,230	479	101	214	15,696	3,480	1,948	22,869
	B(ほぼ正常)	1,114	1,042		46	32	121	0	3,648	2,923	8,926
	C(経過観察)	638	2,267		898	173	433	8,909	7,458	13,211	33,987
	D(治療中、要治療)	4	22		1	2	2	0	251	393	675
	E(精検、再検)	49	247		8	10	36	371	229	132	1,082
乳房 X線、内視鏡等	件数	1,298	4,201	22,636	2,116	967	609	28,414	21,274	12,121	81,515
	A(異常なし)	1,106	3,520	17,957	2,040	597	546	24,589	17,113		67,468
	B(ほぼ正常)	75	376	2,934	21	159	11	0	0		3,576
	C(経過観察)	18		452	49	147	2	2,107	2,754		5,529
	D(治療中、要治療)	4	33	50	0	36	0	0	420		543
	E(精検、再検)	95	272	1,243	5	28	50	1,718	987		4,398
子宮 視触診等	件数	1,275	1,528	22,297	1,758	857	606	26,526	10,118	6,640	54,847
	A(異常なし)	1,272	1,374	17,497	1,556	790	532	23,563			46,584
	B(ほぼ正常)	0	63	2,603	28	0	0	0			2,694
	C(経過観察)	0	23	1,436	101	45	50	0			1,655
	D(治療中、要治療)	0	33	336	25	11	6	0			411
	E(精検、再検)	3	35	425	48	11	18	2,963			3,503
子宮細胞診	件数	3	52	2	31	32					120
	陰性		488				8	5,072	160	1,479	7,207
HPV	陽性		38				0	213	40	76	367
	AFP定量	2,330	436	581	2	37	205	4,453	164	9	8,217
腫瘍マーカー	CEA	2,020	475	1,644	20	48	301	6,271	726	5,689	17,194
	CA19-9	1,857	418	1,510	14	50	239	5,669	280	2,451	12,488
	ペプシノーゲン1/2比	8	0	797	76	65	311	11,889	1,888	869	15,903
	ピロリ検査件数		1,542	534	108	37	315	7,110	2,083	1,133	12,862
	ピロリ(-)			482	70	22	208	5,699	1,606		8,087
	ピロリ(+)			52	38	15	107	1,411	477		2,100

補足1) 抽出条件: 各施設が取扱う健診(健診、検診、精密検査等を含む)から集計、対象受診月日は2015年01-12月

補足2) 初期的な集計のため、完全な集計には至っていない

補足3) 斜線(/)部分は判定区分が不明確なデータ

補足4) 腫瘍マーカー等の検査については、受診者自身が費用負担している追加検査を含んでいる。

健診種別としての「がん検診」の実施状況

健診種別に「がん検診」の表記がある健診・検診									健診種別に「がん検診」の表記がない健診・検診							
年齢区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
集計対象者数	994	1,301	2,240	1,538	606	105	8	6,792	16,776	30,717	44,406	38,303	35,161	16,220	3,901	185,484
胸部X線	124	64	13	6	4	0	0	211	7,248	13,093	18,020	14,503	9,761	2,373	265	65,263
喀痰細胞診	0	1	2	1	1	0	0	5	0	18	160	221	235	165	19	818
上部消化管	4	23	100	52	15	5	3	202	569	6,524	12,988	9,918	5,852	1,441	129	37,421
上部内視鏡	1	6	22	45	23	0	0	97	17	627	1,691	1,883	1,474	361	44	6,097
上部消化管生検	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	17	33	53	29	2	140
便潜血	5	35	152	118	54	3	0	367	896	8,226	18,002	15,420	12,626	4,981	575	60,726
ペプシノゲン	0	6	2	1	0	0	0	9	36	178	353	261	248	81	14	1,171
ピロリ菌	0	6	4	3	0	0	0	13	65	166	254	169	174	45	0	873
PSA	0	0	0	0	0	0	0	0	40	237	889	2,493	3,821	1,902	185	9,567
乳房触診	1	2	0	0	0	0	0	3	93	377	744	683	282	35	1	2,215
マンモグラフィ	16	88	1,163	740	265	40	2	2,314	116	1,027	3,048	2,103	999	207	10	7,510
乳房エコー	180	211	84	44	8	0	0	527	490	1,884	2,130	1,068	317	47	6	5,942
子宮診察	508	703	1,009	625	235	27	3	3,110	650	2,416	3,969	2,421	846	131	7	10,440
子宮内診	38	19	0	0	0	0	0	57	21	136	251	222	90	15	1	736
ベゼスタ分類	83	49	27	11	31	19	1	221	214	485	1,097	1,023	1,067	396	46	4,328
日母分類	83	49	27	11	31	19	1	221	61	287	629	455	370	102	9	1,913

抽出条件: 性、年齢(20-89歳)、健診種別項目に名称登録がある5施設のデータを抽出した。

- ◆健診種別に「がん検診」の表記がある健診・検診では、上部消化管生検、PSAが実施されていないことから、対策型がん検診として実施されていることが予測される。
- ◆「がん検診」の表記がない健診・検診では、健診種別の表記は様々であることから、「対策型がん検診」、「任意型がん検診」を健診種別に表記した上で実施する必要がある。

参考 糖尿病関連検査の実施状況（抽出データより）

分類	施設名	施設14	施設24	施設30	施設44	施設54	施設55	施設67	施設80	施設A	施設K	計
受診者数	合計	6,919	9,080	64,405	104,717	15,008	3,055	13,197	40,892	27,784	280,170	565,227
	男	3,525	4,828	26,622	58,554	6,409	1,463	5,220	4,894	14,783	175,108	236,495
	女	3,394	4,252	37,783	46,163	8,599	1,592	7,977	35,998	13,001	105,062	180,068
尿	尿糖	6,037	8,180	50,235	81,028	10,264	2,936	5,729	40,774	25,469	214,950	445,602
	尿蛋白	6,037	8,180	50,247	12,923	10,264	262	5,732	40,776	25,469	219,114	379,004
	尿潜血	5,213	5,746	48,094	-	10,264	-	5,536	40,771	23,942	108,567	248,133
血液	Hb	4,724	8,005	31,250	78,247	6,737	2,807	9,864	40,610	24,564	181,728	388,536
血清	総蛋白	409	2,589	12,830	42,842	1,141	396	960	36,613	20,564	15,734	134,078
	アルブミン	114	2,589	12,588	31,470	1,130	157	837	35,043	19,963	11,018	114,909
	AST	5,076	8,181	50,708	79,189	9,817	2,807	9,825	40,796	24,667	181,793	412,859
	ALT	5,076	8,181	50,594	79,204	9,817	2,808	9,825	40,796	24,667	181,791	412,759
	γGTP	5,076	8,181	50,713	79,190	9,807	2,808	9,825	40,796	24,667	179,631	410,694
	総コレステロール	614	5,651	18,641	56,260	3,041	1,109	3,644	40,627	24,130	86,883	240,600
	HDL	4,709	8,181	50,662	78,360	9,799	2,805	9,797	40,796	24,646	178,811	408,566
	中性脂肪	4,709	8,181	50,697	78,221	9,796	2,805	9,867	40,796	24,592	177,780	407,444
	クレアチニン	2,845	6,967	45,994	65,933	7,302	1,887	8,378	40,625	22,514	98,198	300,643
	eGFR	2,845	2,455	45,994	27,000	7,302	-	4,484	4,012	22,514	86,541	203,147
	BUN	-	2,319	12,440	45,250	1,049	335	862	40,625	20,895	30,073	153,848
	尿酸	2,477	6,968	46,224	71,337	6,795	1,972	8,135	40,793	22,867	129,709	337,277
	空腹時血糖	1,899	8,081	40,554	-	7,241	2,775	9,848	36,596	24,506	116,993	248,493
カリウム	-	-	4,330	2,119	3	4	4	-	19,321	585	26,367	

※データ抽出対象期間は平成27年1月～12月。

総合判定用語の標準用語への集約

－シソーラス・類義語表記－

類義語(各施設で利用する用語)			意味	健診標準フォーマット 標準用語
正常	正常範囲	異常所見なし	この検査の範囲では異常ありません。	正常範囲内
異常なし	検査の範囲では異常なし			
差支えなし	わずかな異常(放置可)	わずかな異常	僅かに異常を認めるも日常生活に差支えありません。	ほぼ正常
措置不要	支障なし	差支えなし		
軽度基準外	軽度異常	観察不要		
有所見心配なし	有所見健康	放置可		
要観察	経過観察中	要観察12か月後	軽度な異常があります。日常生活に注意を要し、経過観察を必要とします。	要経過観察
要注意	要観察(次回)	経過観察6か月後		
要管理継続	日常生活注意(経過観察)	管理継続		
要管理	生活習慣の改善、経過観察	経過観察3か月後		
観察	要注意			
要観察・指導	異常なし(管理中)			
家庭にて経過観察	産業医相談			
要受診	病院紹介	要専門医	治療を必要とします。	要医療
要手術	要治療			
異常なし(治療中)	医療継続	治療中	治療を継続してください。	治療継続
要治療継続	加療中	治療中(継続)		
要医療継続	現在治療中	治療中(要医師相談)		
通院継続	病院受診	治療継続		
要治療継続	要治療継続(コントロール不良)	主治医受診		
要継続医療・治療中	要治療継続(コントロール良好)			
要二次検査	要精密	至急精検	精密検査を必要とします。	要精密検査
判定不能	近日中再検査		判定不能のため再検査します。	要再検査

総合判定用語の標準用語への集約

－ 所見名称調査に対する協力施設 －

施設	施設	施設
オリエンタル労働衛生協会	厚生会クリニック	島根県環境保健公社
ぎふ総合健診センター	広島県環境保健協会	東海検診センター
せいおう会鶯谷健診センター	埼玉県健康づくり事業団	東京顕微鏡院
ちば県民保健予防財団	三重県産業衛生協会	東京都予防医学協会
パブリックリサーチセンター	山口県予防保健協会	同友会
メディックス広島健診センター	産業保健協会	日健会日健クリニック
愛仁会総合健診センター	鹿児島県労働基準協会	日建クリニック
伊勢崎健康プラザ	淳風会健康管理センター	日赤熊本健康管理センター
医療情報健康財団	新潟県労働衛生医学協会	日本健康増進財団
医療法人社団卓和会	神奈川県結核予防会	日本予防医学協会
一般財団法人淳風会	神奈川県労働衛生福祉協会	八戸市総合健診センター
岡山県労働基準協会	崇孝会北摂クリニック	八戸西健診プラザ
沖縄県健康づくり財団	聖隷健康診断センター	半田市医師会
関西労働保健協会	西宮市医師会診療所	姫路市医師会
岩手県予防医学協会	西日本産業衛生会北九州健診診療所	福井県予防医学協会
宮崎県健康づくり協会	静岡県産業労働福祉協会	福岡結核予防センター
宮城県成人病予防協会	静岡県予防医学協会	福岡県すこやか健康事業団
京都健康管理研究会	石川県予防医学協会	福島県労働保健センター
京都予防医学センター	全日本労働福祉協会	兵庫県健康財団
京浜保健衛生協会	相和会産業健診センター	兵庫県予防医学協会
九州健康総合センター	綜友会	豊田健康管理クリニック
君津健康センター	大分健康管理協会	北海道結核予防会
恵生会病院健診部	卓和会	北海道労働保健管理協会
結核予防会(北海道)	中国労働衛生協会	北陸予防医学協会
結核予防第一診療所	中部公衆医学研究所	労働保健協会
健康医学協会	長崎県健康事業団	鶯谷健診センター
健康医学予防協会	長洲柏戸クリニック	黎明会 健診センター・キタデ
健康倶楽部健診クリニック	長野県労働基準協会連合会 松本健診所	
原三信病院健康管理センター	杜の都産業保健会	

全報告数=86

※所見名称調査は、日本医師会と全国労働衛生団体連合会の連名により、加盟健診機関に対して行った調査。

健診標準フォーマットの 本格運用に係る取組み

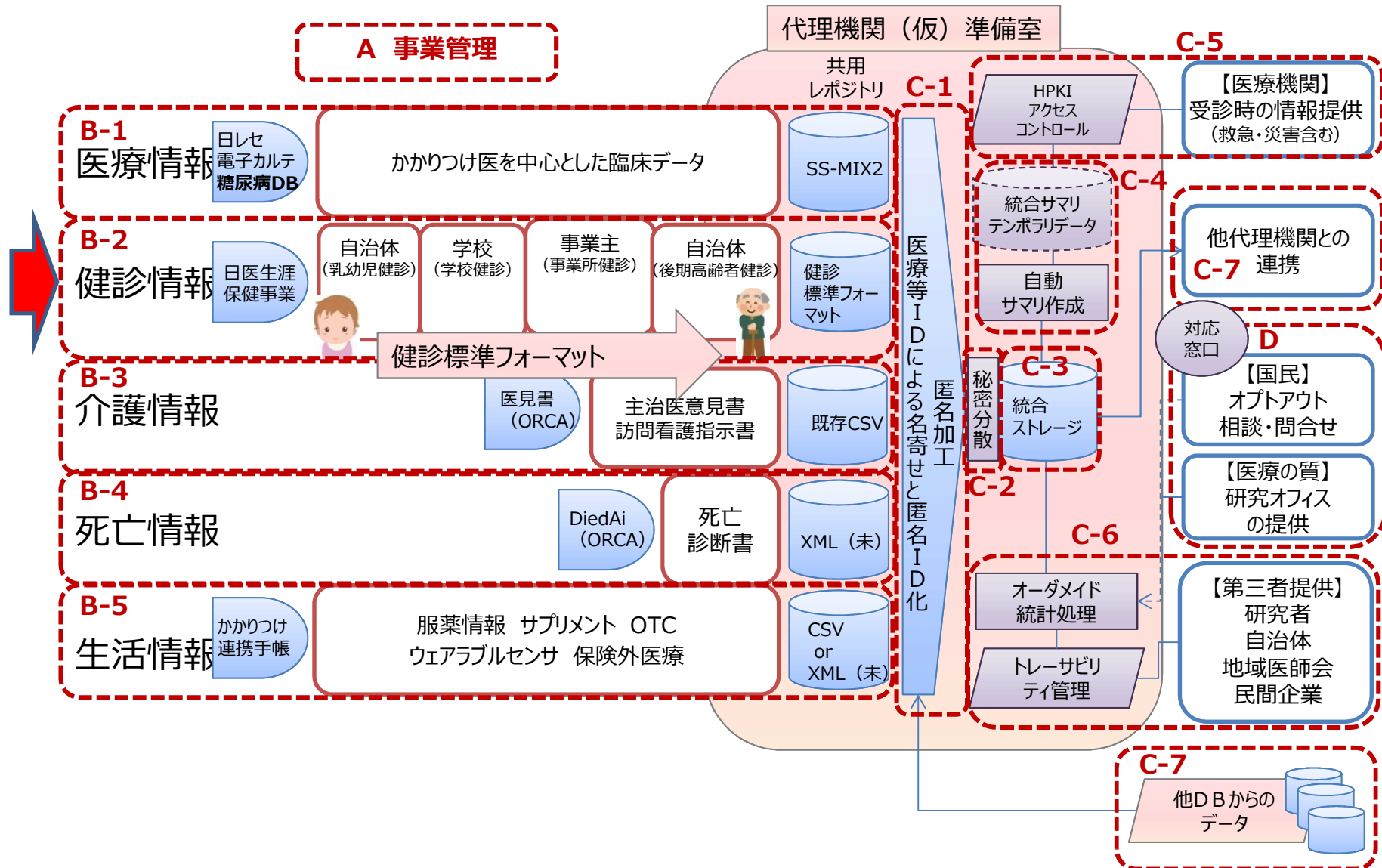
大規模健診データ収集にむけた取組み①

【次世代医療基盤法】平成29年4月28日成立
(医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報に関する法律)

日本医師会における
認定匿名加工医療情報作成事業者の検討について

AMED臨床研究事業における健診データ収集事業（概要図）

SS-MIX2企画の診療情報を中心とした生涯保健情報統合基盤の構築と利活用に関する研究
生涯保健情報統合基盤のサブシステム構成



平成28年度 「AMED臨床研究事業」における健診データ収集事業

名称：SS-MIX2規格の診療情報を中心とした生涯保健情報統合基盤の構築と利活用に関する研究
・分担研究開発課題名（実施内容）：健診情報収集環境設計・開発

研究開発分担者 所属：公益社団法人日本医師会 総合政策研究機構 研究部
・研究開発分担者 役職 氏名：統括部長補佐 吉田 澄人

【研究開発の内容】

日本医師会ORCA管理機構が設計・開発する環境の一部として、日本医師会が策定した「健診標準フォーマット」の運用により健診標準フォーマットへの変換テーブルの設計を行い、データ収集を行う。

【開発スケジュール】

- | | |
|-----------------------------------|--------------|
| 1. 対象健診機関の選定作業 | 平成28年11月 |
| 2. 対象健診機関におけるCSVデータの抽出とサンプルデータの作成 | 平成29年1月～2月M |
| 3. 変換テーブルの作成 | 平成29年2月M～2月E |
| 4. サンプルデータの変換作業 | 平成29年3月 |

【課題と今後の対応】

平成28年度における本研究では、複数の健診機関、特に特定健診や事業主健診に留まらず、人間ドックや婦人科健診等を実施している施設を対象として選定し、健診データの変換を行った。

今後、匿名化された健診データを公益性の高い研究機関等が分析し、かかりつけ医が分析データを診療に活用するしくみの構築を踏まえて、標準化された質の高い健診データの運用が可能となるよう、健診機関、健診関係団体、及び臨床検査部門がデータの標準化に向けて取組むため、検査における基準範囲等の由来情報の設定や所見・判定等の表記統一を進めていく。

大規模健診データ収集にむけた取組み①

健診関係団体による健診データ変換・収集のための
健診標準フォーマットパイロット事業について

パイロット事業の概要

1. パイロット事業の内容

平成28年10月に公表された「共同宣言」では、「医療機関、健診実施機関、健診関係団体等が取組む国民の生涯を通じた健康増進や健康管理に関わる事業活動に資する、健診のデータベース構築に協力して取組むこと」とされている。そこで、「健診標準フォーマット」を用いて、健診関係団体自身が健診機関より収集している健診データを健診標準フォーマットに変換し一元管理できるよう、パイロット事業を実施する。

2. 本パイロット事業の対象

- ①対象団体：日本医学健康管理評価協議会の構成団体（3~4団体）
- ②対象機関：協議会の構成団体加盟の健診機関（1団体30機関）

3. 本パイロット事業の期間

平成29年9月1日から平成30年3月31日まで

4. 本パイロット事業で取扱う健診データの範囲

- ①妊婦健診 ②乳幼児健診 ③学校児童生徒健診
- ④労働安全衛生法に基づく定期健康診断等 ⑤特定健診
- ⑥後期高齢者健診 ⑦がん検診 ⑧人間ドック健診等

パイロット事業の概要

5. 本パイロット事業における集計データの範囲

- ① **健診機関別** 健診項目別健診データの比較（単年度ごと）
- ② **受診地域別** 健診項目別健診データの比較（単年度ごと）
- ③ **健診種類別** 健診項目別健診データの比較（単年度ごと）
- ④ その他、二次集計・分析、経年分析等については、別途検討

6. 本パイロット事業における契約の締結

本パイロット事業の実施にあたっては、健診機関への訪問による健診データの変換作業が必要であることから、実施時期、経費の負担、個人情報取扱いに関する事項を定めた契約書を日本医師会と健診関係団体の間で締結する。

※業務委託契約書のひな型については別途提示する。

7. 本パイロット事業への参加募集について

①参加募集期間

平成29年9月上旬～9月中旬

②参加募集団体数

3～4団体

生涯健診データベース統合基盤構築案

日本医学健康管理評価協議会の
構成団体を中心に構築

医療機関・健診機関



本人同意の取得

標準化

生涯健診データ
ベース統合基盤

高精度
健診DB



公益事業としての
健康状態比較分析

かかりつけ医
担当医



医師の認証

(データ提供先)

- PDS
- 情報銀行
- PHR
- 医療保険者
- 民間代行機関
- 企業
- 匿名加工事業者

第2：個人が予防活
動のために使う



第1：医療関係者が
受診者のために使う

まとめ

1. 健診標準フォーマットの運用によるがん検診の実施状況について

職域におけるがん検診では、保険者や事業主が提供するがん検診に加えて、受診者自身の全額費用負担によるがん関連検査も実施されていることが想定される。

2. 職域におけるがん検診の実態把握について

職域におけるがん検診の実態を把握するためには、受診形態の違いを把握する必要がある。

そのため、健診機関における「健診種別」項目への記載について、「対策型がん検診（市町村におけるがん検診）」、「任意型がん検診（職域におけるがん検診）」等の記載を徹底したうえで、健診機関からの健診データ収集を実施しなければならない。

ご清聴ありがとうございました

JMAMDC

日本医師会 医師主導による医療機器の開発・事業化支援事業
JMA Program to Support Medical Device Development and Commercialization



日本医師会
Japan Medical Association